

北海道胆振東部地震

江別市の断水状況

詳細
水道整備課 ☎383・2439



江別太小学校の緊急貯水槽から給水する様子(9月6日撮影)
50㎡(約5,500人が3日間必要とする量)の飲料水が備蓄されています

9月6日午前3時7分、胆振地方を震源とする、北海道で初めて最大震度7を観測する地震が発生しました。江別市でもこれまでに経験したことのない震度5強。その後道内全域が停電となるブラックアウト(全電源喪失)が発生しました。このブラックアウトは、江別市内に断水をもたらしました。

なぜ停電で断水したのか

停電により、上江別浄水場では、水を作る浄水設備、水を送るポンプ設備、水質を監視する通信設備など、電氣を使う設備は全て機能が停止しました。このため、上江別浄水場の配水区域内、約2万3500世帯への通水ができず、断水となりました。

上江別浄水場は、停電に備え、電力を2系統から供給できる仕組みにしています。しかし、道内全域のブラックアウトという想定外の事態により、両系統とも電力供給が不能となったことで、浄水場設備の機能停止を回避できませんでした。

また、この停電により、高層マンションや集合住宅など、電動ポンプで水を汲み上げる

家庭でも予期せぬ災害への備えを

飲料水 ~ 備蓄の目安は3日分 ~



大人1人当たり1日3ℓの飲料水が必要です。ペットボトルなど清潔な容器いっぱい水道水を入れ、ふたをします。直射日光を避けた常温で3日、冷蔵庫で10日ほど保管できます。

生活用水 ~ 事故に注意 ~



浴槽の水を捨てることなく、洗濯やトイレなどの生活用水として利用できます。お子さんが誤って落ちないように、注意してください。

給水所からの水の運搬方法 ~ 容器の持参にご協力を ~



台車とポリタンクがあると楽に運べます。台車の代わりに、キャスター付きのキャリーバッグやスーツケースでも水の入ったポリ袋を運搬できます。ポリタンクがなければ、ダンボール箱の中にポリ袋をかぶせ、布テープなどで補強することで簡易のタンクとして使えます。

※災害時は防災用備品の購入が困難になります。普段から準備しておくことで安心です。

建物でも断水が発生しました。
給水所による緊急対応

断水を受け、市内6か所の緊急貯水槽(下表)と市民会館、上江別小学校、豊幌小学校の9か所に給水所を開設しました。給水所の運営は、江別管工事業協同組合や自衛隊をはじめ、市民の皆さんの協力を得ながら実施しました。

また、医療機関へタンク車での給水活動を行ったほか、高齢者施設へは、個別に給水袋で水を届けました。今回の大規模停電により、

従来の対策に加え、新たな対策の必要性が明らかになりました。市では、これを踏まえ、総合的な災害対策の検討を進めています。

災害に備えてご確認を

江別市内の緊急貯水槽

- | | |
|----------------------|------|
| ① 大麻東公園(大麻東町 35) | 50㎡ |
| ② とちのき公園(野幌若葉町 32) | 50㎡ |
| ③ 若草公園(野幌町 6) | 50㎡ |
| ④ 飛鳥山公園(緑町西 2 丁目 11) | 50㎡ |
| ⑤ 江別太小学校(朝日町 25) | 50㎡ |
| ⑥ 対雁小学校(見晴台 17 - 1) | 100㎡ |



水道事業会計・下水道事業会計

平成29年度決算

【詳細】水道部総務課財務係 ☎ 385-1214

水道部では、経営の指針として「江別市水道事業中期経営計画」と「江別市下水道事業中期経営計画」を策定しています。平成26年度から平成30年度までの5年間、同計画に基づき事業を進めています。計画の4年目となる、平成29年度決算の概要を、中期経営計画との比較を交えてお知らせします。

決算の概要

引き続き健全経営を維持

水の需要は人口減少や節水機器の普及などにより減少傾向にあります。

管理運営費などの節減に努めた結果、水道事業で約3億2千万円、下水道事業で約2億2千万円の純利益を上げることができました。

安定した経営を続けるため、引き続き企業債残高の縮減に努めます。

主要事業

① 基幹管路耐震化事業 (水道事業)

災害に強く安定したライフラインの構築を図るため、基幹管路(口径の大きい主要な水道管)の耐震化を進めました。

② 処理場・ポンプ場施設耐震化事業 (下水道事業)

災害時でも一定の機能を確保できるように、計画的に施設の整備を進めるため、浄化センター施設の耐震診断調査を実施しました。

今後の取り組み

給水量、処理水量の推移を注視しつつ、老朽化が進む機械設備や配水管などの更新を進めます。また、経営基盤強化の取り組みに努め、良質な上下水道サービスの提供と効率的な運営を進めます。

※詳しい決算の状況(決算書)と「中期経営計画」は水道部ホームページへ



損益の状況

項目	水道事業	下水道事業
営業収益	22億8,762万円	22億2,322万円
営業費用	20億3,135万円	30億3,660万円
営業外収益	1億3,263万円	13億1,393万円
営業外費用	6,534万円	2億8,082万円
特別損失	24万円	9万円
純利益	3億2,332万円	2億1,964万円

企業債残高の推移

年度	水道事業	下水道事業
平成27年度	29億958万円	131億3,617万円
平成28年度	26億3,017万円	124億9,119万円
平成29年度	25億6,197万円	118億6,705万円

経営指標

項目	水道事業	下水道事業
総収支比率	115.4% (106.6%)	106.6% (103.3%)
累積欠損金比率	0% (-)	0% (-)
電子式メータ設置率	52.6% (48.9%)	基幹管路耐震化率 16.7% (14.1%)

※ () 内は29年度経営計画の目標値



雪道とマンホールの段差にご注意を！

積雪期間は、マンホール上の雪が解け、路面との段差ができることがあります。これは下水道管の中は冬期でも一定の温度があり、マンホール上の雪が解けるためです。

段差を車両や人が通行すると、車両が破損したり、転倒して怪我をする危険があります。夜間や吹雪などで見通しの悪い場合は段差に気付かない場合もあるので、外出の際は注意してください。

【詳細】下水道施設課維持管理係 ☎ 385-4988



安平公民館給水所の給水タンクへの補給



早来小学校で町民へ直接給水

給水支援のため
水道部職員を安平町へ派遣

9月10日、安平町の復旧を支援するため、水道部職員4名を派遣しました。安平町は、胆振東部地震により町内8割の世帯が断水となった被災地。派遣された4名の職員は、町内で加圧給水車による給水支援活動を行いました。

【詳細】水道整備課維持管理係 ☎ 383-2439